

教科	科目	単位数	学年	集団
理数	理数数学 I 演習	2	3	総合探究科（選択）

使用教科書	副教材等
新編数学 I（数研出版） 新編数学 A（数研出版）	3 TRIAL 数学 I + A（数研出版） 白チャート数学 I + A（数研出版） 別途、授業で指示する。

科目の目標
1 年次に理数数学 I で学んだ幅広い知識の内容の問題演習を行う。その中で、数学における基本的な概念や原理・法則などを理解する。さらに、それらを積極的に活用し数学的活動の中で正しい判断をし、適切に処理・表現することができる。具体的には、大学入試共通テストに出題される程度の問題を、適切に考え解答することができる。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察したり、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察することができる。数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
評価方法	
① 小テスト、定期テスト、課題テスト、ノートや課題・レポート等の記述内容の点検 ② 小テスト、定期テスト、課題テスト、ノートや課題・レポート等の記述内容の確認 ③ 小テスト、①②における評価に基づき総合的に評価する。	

学習計画						
月	項目	単元	単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
1 学 期	数学 I	数と式 集合と命題 2 次関数 図形と計量 データの分析	数学 I A II の内容の教科書レベル + α の問題を多く解くことにより、標準的難易度の問題を解くことのできる学力を身につける。	○	○	○
	数学 A	場合の数と確率 図形の性質				
	数学 II	指数関数と対数関数				
2 学 期	数学 I	数と式 集合と命題 2 次関数 図形と計量 データの分析	数学 I A II の内容の基礎的な受験レベルの問題を多く解くことにより、上級学校の一般選抜に対応できる学力を身につける。	○	○	○
	数学 A	場合の数と確率 図形の性質				
	数学 II	指数関数と対数関数				

3 学 期	数学 I	数と式 集合と命題 2次関数 図形と計量 データの分析	数学 I A II の内容の共通テストレベルの問題を多く解くことにより、大学の一般選抜における受験問題に対応できる学力を身につける。	○	○	○
	数学 A	場合の数と確率 図形の性質				
	数学 II	指数関数と対数関数				